

実践記録 3 - 題材2 「ちがいのちがい」

中学校1年

(1) ねらい

自分の伝えたい思いや考えを、聞き手に配慮しながらはっきりと伝え、友達の伝えたい思いや考えを共感的に聞きとることができる。

(2) 指導上の留意点

結論は無理に出さないことを伝え、生徒に自由に語らせることを重点にする。

(3) 実践記録

○カードを配布し、各項目について、あってよいちがいかどうかと自分の考え、そして、理由を書き込んでから班で話し合うようにした。

【グループで話し合っただけの結果と主な意見】

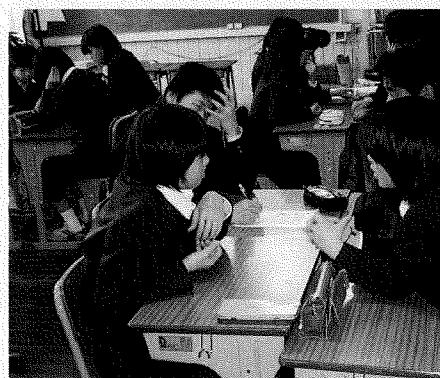
○あってよいちがい ×あってはいけないちがい △どちらとも言えない

項目	1班	2班	3班	4班	5班
1 男子に比べて女子の方が家事を手伝うようによく言われる	×	△	×	△	×
	<ul style="list-style-type: none"> ・男女に関係ない、協力してやるべきだから×だ。 ・でも、女子の方が上手にできるし、親も期待しているから△だ。 				
2 部活動で、2・3年生は球拾いをしないのに、1年生は球拾いをする	×	○	△	○	△
	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年もやってきたことだから○だと思う。 ・やっぱり、1年生がかわいそうだから、×だと思う。 ・上手な1年生は打たせてやったらどうか。△だ。 				
3 C君は、A君には「A君」と呼ぶが、B君には「B」と呼ぶ	×	○	△	○	×
	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良しでもみんな同じ方がいいから×だ。 ・でも、その人が呼びやすければいいのではないか。私は○だと思う。 				
4 学校から家まで4キロメートルのDさんは自転車通学だが、3.5キロメートルのE君は徒歩通学だ	△	△	△	△	△
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の決まりだから仕方ない。○だと思う。 ・3.5キロメートルを歩くE君はかわいそうだ。 				
5 校内マラソン大会で、男子は6キロメートル走り、女子は4キロメートル走る	△	○	○	○	△
	<ul style="list-style-type: none"> ・男女で体力がちがうから○だ。 ・女子でも6キロメートル走りたい人には走らせたいから△だと思う。 				

〈話し合いと感想の概要〉

教師：このワークショップをやって感じたことや考えさせられたことを発表してください。

- C ふだんあまり気づけないことも考えられてよかった。
- C いろんな人の意見も聞け、自分の意見も言えてよかった。
- C 自分の考えに自信を持てばいい。



教師：だれのどのような考えに「なるほど」「そうか」と思いましたか。

- C 3番で、ぼくはよいとしか思っていなかったけど、いじめにもなることだという意見もあって驚いた。
- C 2番の部活の問題で、やっぱり1年生がかわいそうだというAさんの意見が納得できた。
- C 1番で、Nさんの「男女はもともと関係ないはず」という発言がすごいと思った。

教師：自分の意見や考えを、聞く人のことも考えて、はっきりと伝えることができましたか。

- ・できた。(16名)
- ・できなかった。(5名)
- ・人のことを考えなかった。
- ・自分の思いをばりばり言えた。
- ・はっきり言えばよかった。

教師：友達の見解や考えを「よく聞こう」というつもりで聞けましたか。

- ・できた。(19名)
- ・できなかった。(4名)
- ・よく聞こうとしなかった。(1名)

教師：友達と意見や考えのやりとりを楽しめましたか。どう感じましたか。

- ・楽しかった。
- ・またやりたい。
- ・考えさせられた
- ・楽しくなかった。
- ・ちょー楽しかった。いいと思う。自分が思っていることを言ってよかった。
- ・楽しめた。人によって考え方がだいぶ違うんだなと思った。
- ・楽しかった。他の人たちの意見も聞けておもしろい。
- ・みんなの思っていることがよく分かった。
- ・けっこう対立したから、みんな意見が違うということがよく分かった。
- ・意見を交換することはいいと思うけど、ちょっと恥ずかしい。

〈授業者の考察〉

- 1 4人しかいない班なのに、意見をまとめるのに苦労していた。これは、判断を求め合うコミュニケーションに慣れていなかったこと、一人一人が違う意見を述べたこと、話し合いで決めるための判断基準に困ったことが原因として挙げられる。いずれにしても班の話し合いの雰囲気は和気あいあい、ほとんどの生徒が楽しかったと言っている。生徒たちはコミュニケーションの気持ちよさと個々の考え方の違いを感じたようだ。
- 2 自分ではこう思うから友達も同じだろうと思ったら、生徒たちは、人によって様々な意見を持っていることに改めて気づいた。
- 3 いつもは人の意見を聞いてばかりいる生徒も、自分の意見を述べる機会が持てたことに満足していた。